

効果抜群！ヒヤリハットの見直し方

－同じ労力で2倍の効果があがる－

ヒヤリハット活動に熱心に取り組んでいるのに、成果が上がらないと悩んでいませんか？ヒヤリハットシートをたくさん書いて提出しているのに、なぜ事故が減らないのでしょうか？原因はヒヤリハットシートを事故防止に活かしていないからです。ヒヤリハットを一律に扱い優先順位を付けていませんし、ヒヤリハットを事故防止につなげる対応もできていないのです。せっかく書いたシートを成果につなげるには、もっと活動を工夫しなければなりません。本セミナーでは、簡単な見直しで2倍の成果につながる、「ヒヤリハット活動見直し」の秘訣をご紹介します。

セミナーの概要

1. ヒヤリハット活動とは何か？

- ・1:29:300の原則
- ・交通事故と労災事故のヒヤリハット活動
- ・ヒヤリハット活動とKYT(危険予知トレーニング)

2. ヒヤリハット活動の成果が上がらない原因

- ・事故防止の基本活動に取り組んでいない
- ・全てのヒヤリハットを一律に扱っている
- ・ヒヤリハット情報の共有ができていない
- ・原因分析と対策検討ができていない
- ・ヒヤリハットと事故の区分が不明確

3. ヒヤリハット活動の見直し方法

- ・介護現場の基本活動の方法
- ・ヒヤリハットを区分して対応方法を変える
- ・緊急性の高いヒヤリハットは迅速に職場で情報共有
- ・ヒヤリハットケース検討の簡単な取り組み方
- ・事故報告規定に事故とヒヤリハットを区分する
- ・クレームにつながるヒヤリハットへの対応
- ・ヒヤリハットシートを見直したらこうなった！！

4. 演習：ヒヤリハットへのケース別対応方法

- ・演習事例はこちら➡<http://tiny.cc/w5t5yz>

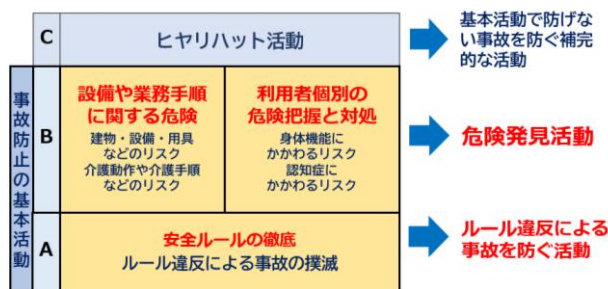
事故の5段階評価と活動方針

※事故は全て防ごうとすると失敗する→5段階に分けて活動方針を変える

防げない事故 損失のない事故	レベル5 ▶ 十分な対策を講じて防げない事故	▶ 生活事故
	レベル4 ▶ 専門知識・技術がないと防げない事故	
防ぐべき事故 損失のある事故	レベル3 ▶ 組織的な事故防止対策で防げる事故	▶ 介護事故
	レベル2 ▶ ミスが原因で発生する事故	
	レベル1 ▶ 万一発覚で発生する事故	

事故の質による評価	対応方針	重要な取組
5 どんな対策を講じても防げない事故	<ul style="list-style-type: none"> ※事故が起きてもケガをしない対策(損害軽減策) ※家族にリスクを受け付けてもらう取組 	▶
4 専門知識・技術がないと防げない事故	<ul style="list-style-type: none"> ※多職種の連携によって専門知識・技術を共有する ※資格取得や研修によって専門知識の習得を促す 	▶
3 基本的な防止対策で防げる事故	<ul style="list-style-type: none"> ※危険箇所点検などの危険発見活動を行う ※標準的な事故防止対策をマニュアル化する 	▶
2 ミスが原因で起きる事故	<ul style="list-style-type: none"> ※介助ミスの原因となる介助方法のリスクを改善する ※ミスの原因となる環境要因を改善する 	▶

基本活動とヒヤリハット活動の位置づけ



安全介護セミナー開催要領

- 開催日時：7月4日 13:30～15:00 (6月27日締め切り)
- 主催：株式会社安全な介護
- 講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 受講料：1施設・事業所 (PC3台まで) 5,500円 (税込)
- 受講方法：Zoomによるオンライン受講
- 提供資料：テキスト(手持ち資料)・お役立ちツール
- 申し込み方法：下記URLからお申し込みいただき、所定の口座に受講料をお振込みください。

<http://tiny.cc/bibuwz>

※安全な介護の顧問先法人は無料ですので申込書にチェックしてください

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275